

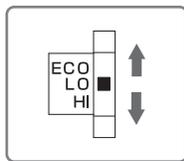
使いかた

※別売の当社赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。
※ご使用前に、チャンネルを設定しCH識別リングを取り付けてください。

- ①本製品を充電します。
- ②レシーバーの出力切換（マイク⇄ライン）を確認します。
- ③レシーバーの電源を入れます。
*電源を入れてから約1秒間は音が出ません。
- ④本製品の電源を入れます。
- ⑤音が出ることを確認し、お持ちの機器またはレシーバーで音量を調整します。

■出力設定の切り換えかた

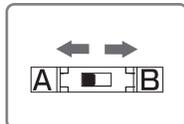
送信範囲の調整をする場合、出力切換スイッチをスライドさせて設定を切り換えます。



- *ECO：出力小、LO：標準、HI：出力大
- *出力を切り換えると、連続使用時間も変わります。
- *工場出荷時は、「LO」に設定されています。

■チャンネルの切り換えかた

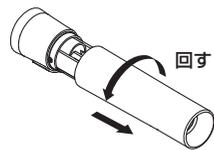
電源をオフにしてから、チャンネル切換スイッチをスライドさせてチャンネルを切り換えます。



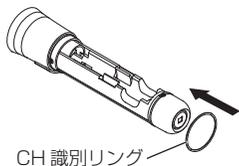
- *電源がオンの状態でチャンネルを切り換えると雑音の原因となります。
- *工場出荷時は、「Aチャンネル」に設定されています。

■CH識別リングの取り付けかた

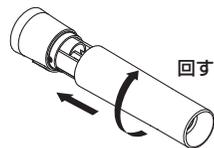
- 1 グリップを反時計方向に回し、外します。



- 2 設定するチャンネルに合わせて、CH識別リングを取り付けます。



- 3 グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。



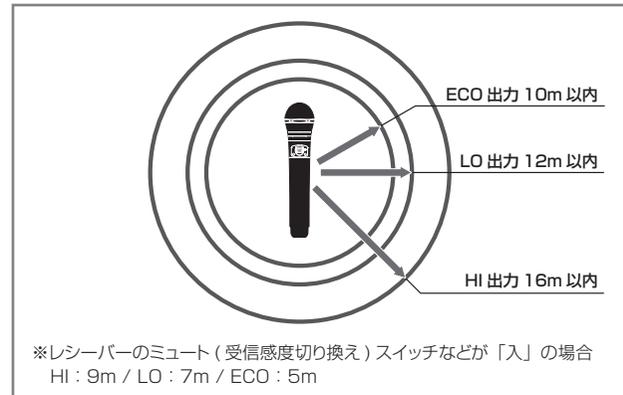
送信周波数

本製品のチャンネルは下表に対応しています。

マイクロホン	チャンネル	周波数	レシーバー対応チャンネル*
AT-CLM7000TX / TSX	A	2.06MHz	1ch
AT-CLM7000TX / TSX	B	2.56MHz	2ch
AT-CLM7700TX / TSX	A	3.20MHz	3ch
AT-CLM7700TX / TSX	B	3.70MHz	4ch

*AT-CR7000またはAT-CR9000の場合

送信範囲



- *上記の送信範囲は本製品とレシーバーの間に障害物がなく、見通せる状態での目安です。
- *周囲の環境やレシーバーの設定条件などにより送信範囲は変わります。
- *本製品とレシーバーの間に障害物がある場合、上記の送信範囲以下でも雑音が出たり、音が途切れたりすることがあります。

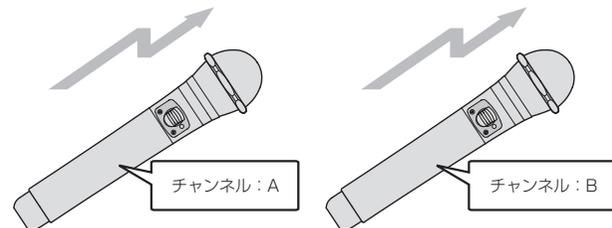
コードレスシステムについて

※別売の当社赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。

本製品を2本同時に使用する際は、各々のチャンネルをAとBに設定してください。

- *同じチャンネル（周波数）のコードレスシステムを2台同時に使用できません。
- *本製品と受光ユニットは1.5m以上離してご使用ください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- *周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離してご使用ください。電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。

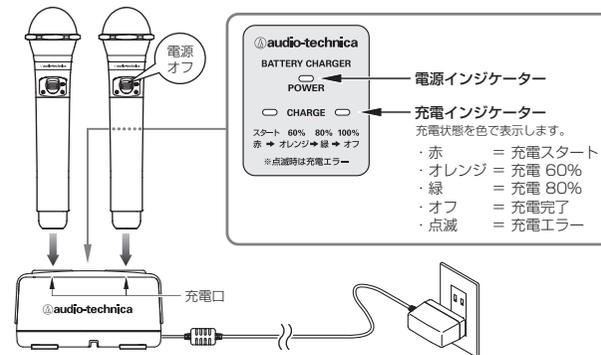
■使用例



充電のしかた

※別売の当社充電器の取扱説明書も併せてお読みください。

■使用例



- ①本製品の電源をオフにしてから、充電口へ差し込みます。

- *本製品を差し込んで、充電インジケーターが点滅する場合は、エラーの可能性があり。一度充電器の電源を切ってからご使用ください。
- *本製品の電源がオンの状態で充電口に差し込むと、自動的に本製品の電源がオフになり、充電が開始されます。（オートオフ機能）

- ②充電中は充電インジケーターが充電状態に合わせて点灯します。（赤→オレンジ→緑）

- ③充電インジケーターが消灯すれば、充電完了です。

- *約5.5時間で充電完了します。
- *本製品の充電式電池の寿命は正常なご使用で約1年、または充電回数で約750回繰り返して使用できます。
- *充電状態の表示は目安です。できる限り、満充電（充電インジケーターが消灯）になってからご使用ください。
- *充電式電池の消耗が少ないときは、自動的に短時間で充電完了します。

故障かな？と思ったら

以下の項目を参考にしてください。
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない

A：充電されていますか？

Q. レシーバーが受信しない

- A1：本製品と受光ユニットの間に障害物はありませんか？
A2：本製品と受光ユニットの距離が離れすぎていませんか？

Q. 満充電にしてもすぐに電池がなくなってしまう

A：電池がメモリー効果を起こしていませんか？
本製品の電源スイッチをオンにして5時間以上放置した後、電源スイッチをオフにしてまた充電してください。
※上記の操作をしても改善されない場合は、充電式電池の寿命（約750回の充電が目安です）と思われます。新しい充電式電池と交換してください。

テクニカルデータ

型式：ダイナミック型
指向特性：単一指向性
変調方式：FM周波数変調
トーン信号：35.7kHz
搬送波周波数：Aチャンネル：2.06MHz、Bチャンネル：2.56MHz（AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX 使用時）
：Aチャンネル：3.20MHz、Bチャンネル：3.70MHz（AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX 使用時）

赤外線波長：870 ± 30nm
電源：DC2.4 ~ 3V（専用ニッケル水素電池
または単3形アルカリ乾電池2本使用時）

連続使用時間*：専用ニッケル水素電池使用時 約10時間（ECO時）
約7.5時間（LO時）
約4.5時間（HI時）
約8時間（ECO時）
：単3形アルカリ乾電池使用時 約5.5時間（LO時）
約3時間（HI時）

動作温度範囲：5 ~ 40℃
外形寸法：Φ56×223mm（ヘッド径×全長）
質量：約275g（専用ニッケル水素電池含む）

付属品：専用ニッケル水素電池RB3UTG(1900mAh)（本製品に実装済み）
：CH識別リング AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX：黄、緑
AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX：赤、青

*使用条件により異なります

改良などのため予告なく変更することがあります。